

みずほグローバルリートファンド 豪ドルコース

追加型投信／内外／不動産投信

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界（日本を含みます。）の取引所に上場されている不動産投資信託証券（リート）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2019年12月18日～2020年6月17日

第91期	決算日：2020年1月17日
第92期	決算日：2020年2月17日
第93期	決算日：2020年3月17日
第94期	決算日：2020年4月17日
第95期	決算日：2020年5月18日
第96期	償還日：2020年6月17日

償還日 (2020年6月17日)	償還価額	3,806.57円
	純資産総額	206百万円
第91期～ 第96期	騰落率	△38.5%
	分配金合計	225円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

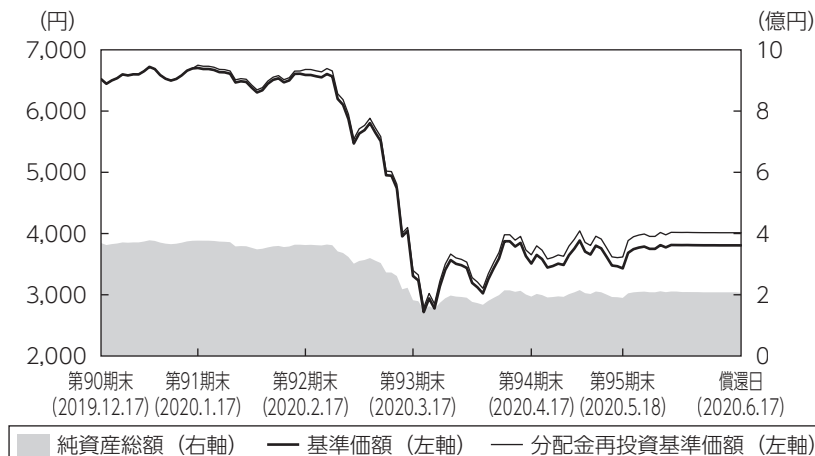
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第91期首： 6,522円
 償還日： 3,806.57円
 (既払分配金225円)
 騰落率： △38.5%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

「グローバル・リート・ファンド (AUクラス)」受益証券への投資を通じて、世界の取引所に上場されている不動産投資信託証券 (リート) を主要投資対象とし、保有資産について対豪ドルで為替取引を行いました。当作成期については世界のリート市場が下落したことなどから、基準価額は下落しました。設定来では世界のリートが上昇した一方、保有銘柄の下落や対円で豪ドルが下落したことなどから、基準価額 (分配金再投資ベース) は下落しました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第91期～第96期		項目の概要
	(2019年12月18日 ～2020年6月17日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	29円	0.599%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は4,907円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(12)	(0.253)	
(販売会社)	(16)	(0.330)	
(受託会社)	(1)	(0.016)	
合計	29	0.599	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

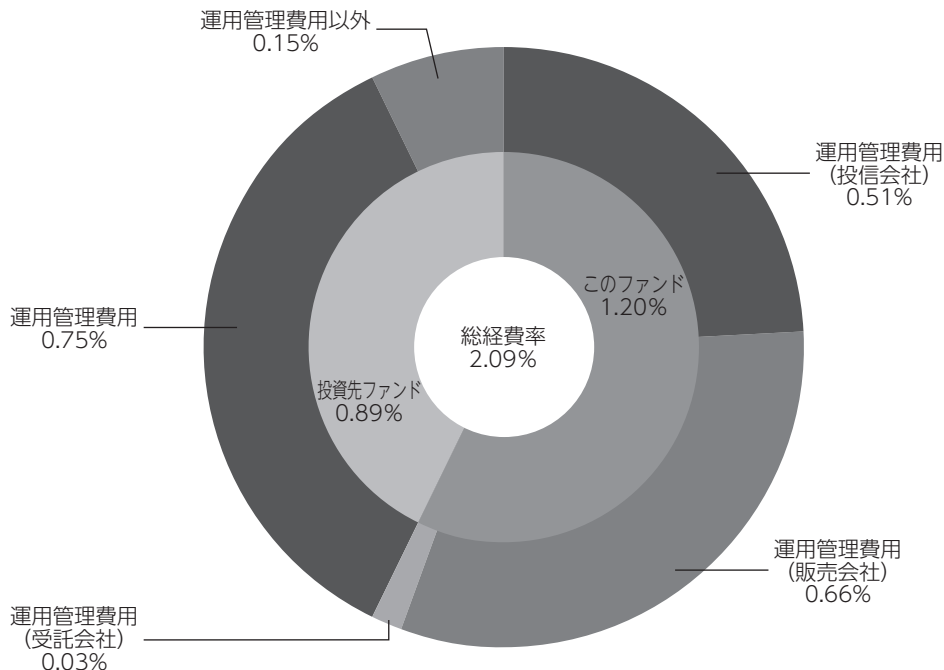
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.09%です。



総経費率 (①+②+③)	2.09%
①このファンドの費用の比率	1.20%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.75%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.15%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

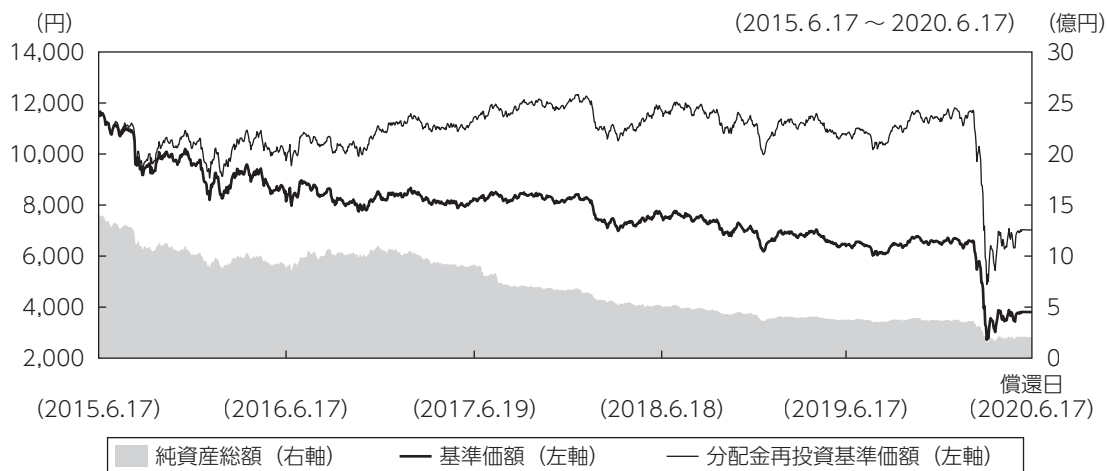
(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) 投資先ファンドは、源泉税を含みません。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかにについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2015年6月17日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2015年6月17日 期首	2016年6月17日 決算日	2017年6月19日 決算日	2018年6月18日 決算日	2019年6月17日 決算日	2020年6月17日 償還日
基準価額 (分配落) (円)	11,525	8,144	8,225	7,547	6,394	(償還価額) 3,806.57
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	1,680	1,260	840	565	495
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△15.5	17.6	2.0	△8.2	△34.6
純資産総額 (百万円)	1,391	874	914	508	373	206

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

設定来の投資環境

●海外不動産投信市況と為替市場

世界のリート市場は設定来で上昇しました。設定から2015年にかけては米国の金融緩和が縮小されましたが、引き締めペースは緩やかだったことから、米国長期金利は低位安定し、市場は上昇しました。2016年以降は米国で継続的に利上げが実施され、市場は横ばいとなりました。2018年終わりから2019年は景気減速が懸念され、再び米国長期金利が低下し、市場は上昇しました。しかし、償還にかけて新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、市場は急落しました。

豪ドルは対円で下落しました。中国景気の成長鈍化を背景とした資源価格の下落などから円高豪ドル安が進行しました。

●短期金融資産市況

2010年10月以降、「包括的な金融緩和政策」を継続していた日本銀行は、2013年4月に「量的・質的金融緩和」を導入し、2014年10月には、その拡大を行いました。この間、無担保コール翌日物金利はプラスの水準で推移を続けましたが、その後、2016年1月に、日本銀行は「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」を導入し、無担保コール翌日物金利はマイナスの水準まで低下し、以降マイナス圏での推移となりました。

設定来のポートフォリオについて

●当ファンド

「グローバル・リート・ファンド（AUクラス）」受益証券の組入比率は、原則として高位を維持し、「MHAM短期金融資産マザーファンド」受益証券への投資も行いました。

●グローバル・リート・ファンド（AUクラス）

国およびセクターの分散化を図りつつ、配当利回りが比較的高く割安感があり、業績などファンダメンタルズの改善傾向や財務安定性の見られる世界のリートへの投資を行いました。その他、安定的な配当利回りの高さや市場急変時の価格安定性の観点から優先リートにも投資を行いました。

保有資産について対豪ドルで為替取引を行いました。

●MHAM短期金融資産マザーファンド

当マザーファンドは、わが国の短期公社債および短期金融商品を中心に投資を行い、わが国の無担保コール翌日物金利を指数化した収益率を上回る運用成果を目指すファンドです。残存期間が1年以内の短期公社債を中心とした組み入れを継続した結果、基準価額は上昇しました。当ファンドの主な投資対象である短期公社債の利回りが概ねゼロ%以上の水準で推移したことが要因となります。

分配金

当作成期の収益分配金は、配当等収益の水準、基準価額の水準および市況動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
	2019年12月18日 ~2020年1月17日	2020年1月18日 ~2020年2月17日	2020年2月18日 ~2020年3月17日	2020年3月18日 ~2020年4月17日	2020年4月18日 ~2020年5月18日
当期分配金（税引前）	45円	45円	45円	45円	45円
対基準価額比率	0.67%	0.68%	1.34%	1.27%	1.29%
当期の収益	22円	16円	17円	22円	16円
当期の収益以外	22円	28円	27円	22円	28円
翌期繰越分配対象額	496円	467円	440円	417円	388円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

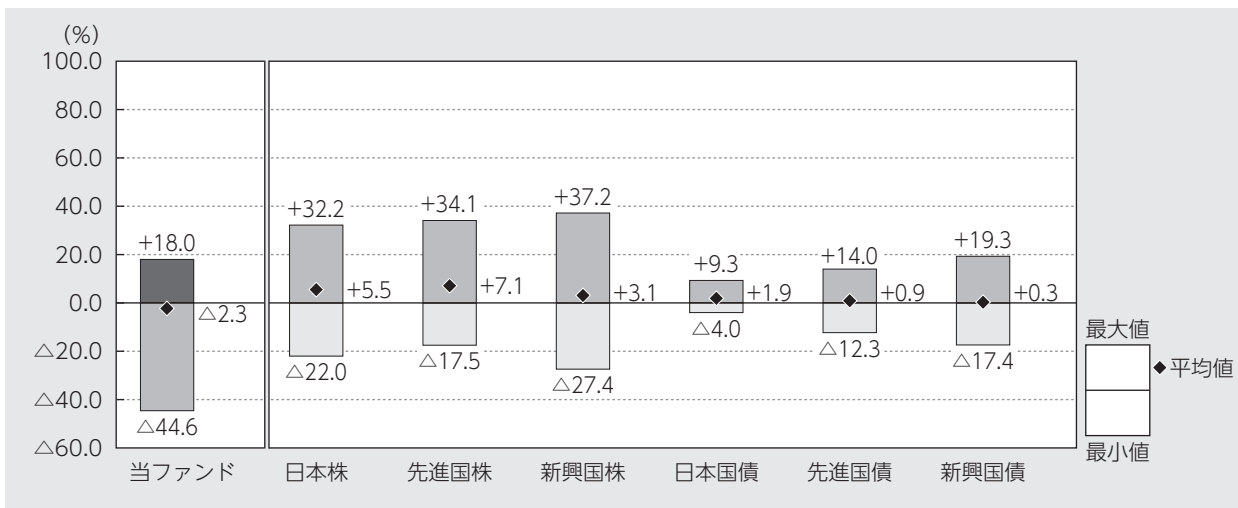
(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

このたび償還を迎えるにあたりまして、当ファンドへのご愛顧に心より感謝申し上げますとともに、今後とも一層のお引立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／不動産投信	
信託期間	2012年6月29日から2020年6月17日までです。	
運用方針	世界（日本を含みます。以下同じ。）の取引所に上場されている不動産投資信託証券（リート）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を目指します。	
主要投資対象	みずほグローバルリートファンド豪ドルコース	円建ての外国投資信託「グローバル・リート・ファンド（AUクラス）」受益証券（外国投資信託（AUクラス）ともいいます。）および円建ての国内籍投資信託「MHAM短期金融資産マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	グローバル・リート・ファンド（AUクラス）	世界の取引所に上場されている不動産投資信託証券（リート）を主要投資対象とします。
	MHAM短期金融資産マザーファンド	わが国の短期公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
運用方法	外国投資信託（AUクラス）への投資を中心にを行い、投資対象ファンドの合計組入比率は高位を維持することを基本とします。 外国投資信託（AUクラス）では、米ドル以外の通貨建資産については、すべて対米ドルで為替取引（保有資産通貨売り・米ドル買い）を行い、そのうえで保有資産について、対豪ドルで為替取引（米ドル売り・豪ドル買い）を行います。	
分配方針	第4期以降の毎期（原則として毎月17日）、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額の範囲とし、分配金額は、配当等収益の水準、基準価額の水準および市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2015年6月～2020年5月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国国債…JPMオルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

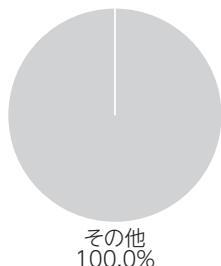
※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

当ファンドのデータ

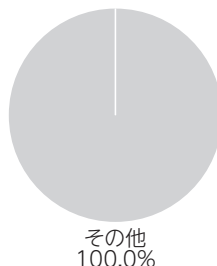
当ファンドの組入資産の内容（2020年6月17日現在）

当ファンドに組入れておりました有価証券は作成中に全て売却し、また親投資信託受益証券は作成中に全て解約いたしました。

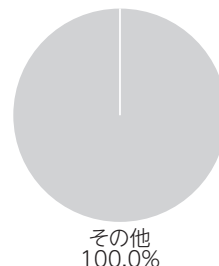
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。

純資産等

項目	第91期末	第92期末	第93期末	第94期末	第95期末	償還時
	2020年1月17日	2020年2月17日	2020年3月17日	2020年4月17日	2020年5月18日	2020年6月17日
純資産総額	376,890,480円	362,447,912円	182,281,603円	194,130,118円	189,794,263円	206,228,371円
受益権総口数	562,178,088口	550,026,934口	551,214,899口	553,044,036口	553,100,495口	541,769,664口
1万口当たり基準（償還）価額	6,704円	6,590円	3,307円	3,510円	3,431円	3,806.57円

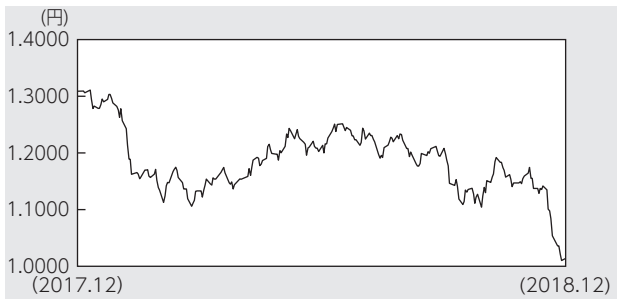
(注) 第91期～償還時における追加設定元本額は10,510,921円、同解約元本額は34,642,638円です。

組入ファンドの概要

※償還時における組入ファンドはありません。

[グローバル・リート・ファンド (AUクラス)] (計算期間 2018年1月1日～2018年12月31日)

◆基準価額の推移



◆組入上位銘柄

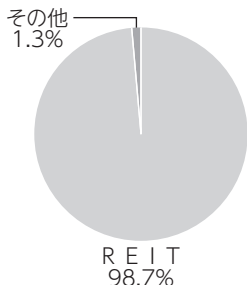
(組入銘柄数：75銘柄)

順位	銘柄	比率
1	VEREIT INC	4.7%
2	GAMING AND LEISURE P ROPERTIE	3.4%
3	BRIXMOR PROPERTY GROUP	3.4%
4	HOSPITALITY PROP	3.4%
5	CITY OFFICE REIT INC	3.4%
6	APPLE HOSPITALITY RE IT INC	3.3%
7	MEDICAL PROPERTIES TRUST INC	3.3%
8	SABRA HEALTH CARE REIT INC	3.2%
9	BLACKSTONE MORTGAGE	3.1%
10	SENIOR HOUSING	3.1%

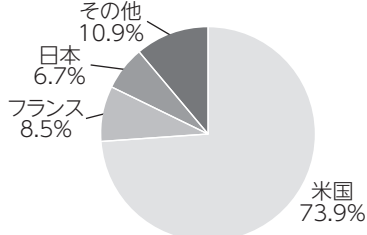
◆1万口当たりの費用明細

当該情報の取得が不可能なため開示しておりません。

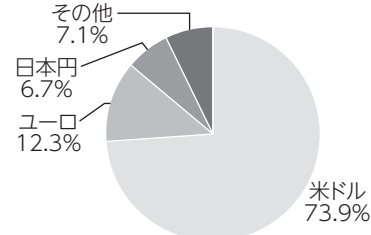
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 上記は、委託会社が入手した直近の計算期間のものであります。

(注2) 組入上位銘柄、資産別、国別および通貨別配分は、当ファンドの実質的な投資先である「グローバル・リート・ファンド」の内容になります。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別および通貨別配分については投資有価証券合計に対する割合です。

(注4) 国別配分につきましては発行国(地域)で表示しております。

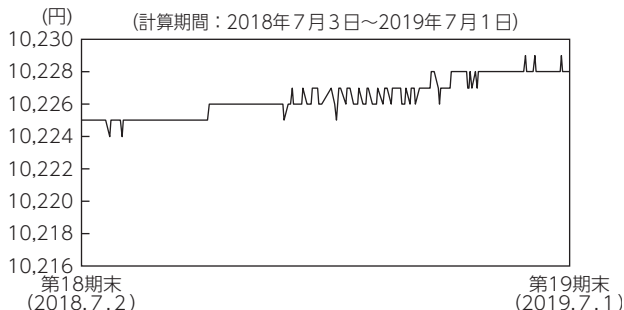
(注5) その他は100%と配分比率の合計との差になります。

(注6) 当ファンドは米ドル以外の通貨建資産については、すべて対米ドルで為替取引(保有資産売り・米ドル買い)を行い、そのうえで保有資産について、対豪ドルで為替取引(米ドル売り・豪ドル買い)を行います。

(注7) 当ファンドが保有する組入全銘柄に関する情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

[MHAM短期金融資産マザーファンド] (計算期間 2018年7月3日～2019年7月1日)

◆基準価額の推移



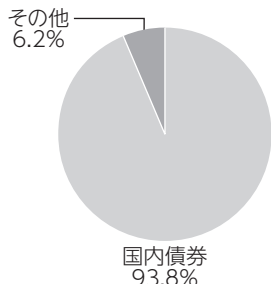
◆1万口当たりの費用明細
該当事項はありません。

◆組入上位銘柄

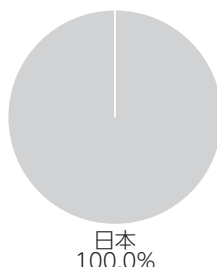
(組入銘柄数：15銘柄)

順位	銘柄	種別	利率	償還日	比率
1	平成21年度第6回 千葉県公募公債	地方債	1.41%	2019/09/25	11.0%
2	平成21年度第2回 北九州市公募公債	地方債	1.36%	2019/12/24	8.7%
3	平成21年度第10回 愛知県公募公債 (10年)	地方債	1.38%	2019/10/30	7.8%
4	平成21年度第1回 福井県公募公債	地方債	1.34%	2019/12/25	7.7%
5	第42回 川崎市公募公債 (5年)	地方債	0.101%	2019/12/20	7.4%
6	平成21年度第1回 徳島県公募公債	地方債	1.55%	2019/11/29	7.0%
7	平成21年度第5回 京都市公募公債	地方債	1.45%	2020/02/25	6.9%
8	平成26年度第3回 京都市公募公債	地方債	0.184%	2019/09/26	5.8%
9	第41回 川崎市公募公債 (5年)	地方債	0.163%	2019/09/20	5.7%
10	い第777号 農林債	金融債	0.25%	2020/02/27	5.5%

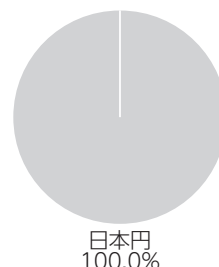
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



- (注1) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は当マザーファンドの直近の計算期間末のものであります。
 (注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分についてはポートフォリオの合計 (除く現金) に対する割合です。
 (注3) その他は100%と配分比率の合計との差になります。
 (注4) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載されています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

(このページは白紙です)

